

私たち姉妹は2歳半からバレエを習っています。バレエが大好きで、高熱があってもレッスンへ行き、舞台にも出るほど大好きでした。小学生の頃の夢は、バレリーナやバレエの先生になることでした。

時には挫折や希望を失いそうになりましたが、それでもバレエが好きで、厳しいレッスンをして、喜びや達成感を感じ、本当に続けてきて良かったと思っています。

私たちの夢が叶ったのは10年前
親の協力もあつて念願のバレエスタ
ジオを設立することができました。
そこで自分たちが踊ることができ
ても教えることの難しさを、ひしひ
しと感じました。生徒全員が同じ
ように成長していくわけではなく、
個々に得意なことや苦手なことも違
います。根気よく長い目で見て待つ
ことも大切なことだと感じました。
できなかったことが、できるよう
になった時「先生見て！できるよっ

「になったよ」っと生徒が踊って見せてくれたりします。自分のことのようには喜び嬉しく思う瞬間です。

恥ずかしくて、私たちに言いに来れない生徒たちも、踊りを見てできるようになっていると、私たちは心の中でガッツポーズをとっていることも多々あります。

今年8月の発表会に向けて、2月から練習に入っています。練習中生徒たちの目がキラキラしているのを見ると、私たちもワクワクしてきます。生徒たちも普通の練習とは違います。生徒たちが伝わってきます。

スタジオを設立して10年、生徒と共に成長してきた10年間でした。夢は叶いましたが、日々精進です。

「好きこそものの上手なれ」本当にそうだと思います。夢や希望を持って、レッスンしている生徒たちの可能性を少しでも叶えるお手伝いをしたいと思っています。

てしま れいな
手島 鈴奈さん
(写真右)

ろびん
楽敏さん
(写真左)



国乱世の頃
です。

社殿の構造形式は、一間社春日造りで、床面積で一坪に満たない。86㎡の社寺建造物として極めて小規模の社殿です。



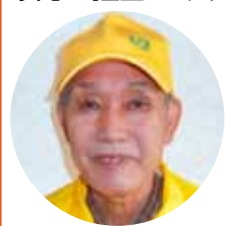
文化財の修復の課題は、いかに当初材を活用するかです。戸隠神社の場合、当初の木製樋、棟木も残っており、腐朽部分は、接木・埋木などの方法が採用されています。木工作もヤリガンナ削りなどで、古材表面の模様を保持する様に作業されています。また、彩色、絵模様を、限りなく当初のものに近づけるため、塗料も同質の物として、

朱・鉛丹・ベンガラ・群青・墨汁などが使用されています。

屋根材の板は杉そぎ板を使用し、たる木やほうたて板に、大永4年の年月日や、大工職人数人分の名前が墨書してあります。墨書のある村名は今も地元存在する地名です。

社の石段には、傍に観音堂があり、覆屋おほえの格子より内部を覗

今月の担当ガイド



よしむら しんいち
吉村 晋一さん

猪名川町唯一の重文
戸隠神社本殿（肝川）



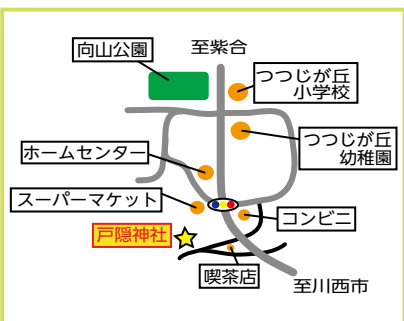
▲戸隠神社拝殿
(1524)年2月に造
立、6月に
遷宮のあつ
たことが判
ります。室
町末期、戦



くと、極彩色の小さな本殿が見えます。よく見ると、左右に菊をあしらった外陣正面の「かえりまた」には円相の内に梵字ぼんじ状の模様があります。梵字（ベイ）は神仏習合時代のなごりであるのがよく分かります。

戸隠神社の祭神は、あまのつひやうのひめ天手力雄命です。古事記によると、天手力雄命は力持ちの神様で、天の岩戸あまのいわのきり開きの功労者の一人で、再び天照大神が天の岩戸に隠れない様、この岩戸を放り投げたところ、信州の国（現長野市）に落ちたといわれています。これが戸隠神社の由来です。その後、当神社にかむす勧請されたとされます。

ぜひ皆さんも、町内最古の建築物で国の重要文化財でもある戸隠神社にお参りしてみてください。



▶町観光ボランティアガイドの申込・問合せ 産業観光課 ☎ 766 - 8709

道の駅 いながわだより

今月のピックアップ野菜

プチヴェール（道の駅での入荷時期 11～4月頃）

プチヴェールはフランス語で「小さな緑」を意味します。青汁の原料であるケールと芽キャベツの交配種で、非常に高い栄養価と上品な甘みがあります。寒さに耐えることで、みかんやイチゴ並みの糖度を蓄えており、葉も軸も無駄なく食べられます。手軽にサッと茹でてマヨネーズやドレッシングをかけた



《3月のイベント》

◆やよいまつり

3月23日（日）午前10時～午後3時
十割そばの手打ち実演・販売、そば雑炊の振
る舞い、餅まき、合鴨の串焼きなど

▶問合せ 道の駅いながわ ☎ 767 - 8600

雲海の眺望

▶納得いく文字が書けるまで何度も書き直し、勢いのある作品に仕上がりました。

上原 未来さん（3年）



◀細かな作業を集中力を切らすことなくたくさん行い、丁寧に仕上げることできました。

福井 雄麻さん（3年）

こども作品展

▶豊かな発想力でアイデアにふれ、不思議な世界観を作り仕上げることでできました。

阪本 凧さん（3年）

